

喜界町

図書館だより

1月号



【通算 第259号】
2018（平成30）年1月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL：0997-65-0962
FAX：0997-65-2523
e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

●ブックスタート●
図書館からの
プレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が絵本を介して、ゆっくりと心なれあうひとときをもつ、きっかけづくりのお手伝いをしています。（対象児には案内状を配布しています。図書館のカウンターで受け取ってください。ご来館をお待ちしています。）



=== 明けまして

おめでとうございます。 ===

今年も喜界町図書館の御利用をよろしくお願い致します。

平成30年 元旦

図書館職員一同



◇◇◇ 正月のならわし ◇◇◇ ～～ 《正月の空》のおはなし ～～

【初空：はつぞら】

元日の大空を初空、または初御空（はつみそら）といいます。一年の始まりの空は、すがすがしく、おめでたい気持ちで見上げたくなるものです。

【初曙：はつあけぼの、初明かり、初茜：はつあかね】

夜明け前のまだ暗い時分を暁（あかつき）、夜明け近くの、ほのぼのと明るみがさす頃を曙（あけぼの）といいます。とりわけ元日の曙を初曙とって、そのとき空にさしてくる明け方の光を初明かり（はつあかり）、夜明けの茜色に染まった空を初茜といいます。そして、日が昇り、初日の出を迎えます。いまかいまかと新年の夜明けを心待ちにする気持ちが伝わってくるような名前たちです。

【初東雲（はつしのめ）】

元日の明け方のこと。初曙とおおよそ同じ頃を指します。東雲は、篠の目とも書きますが、それは篠竹（しのたけ：全体に細く、葉も細かな竹・笹の類。）で作った網み目のことで、昔の家の明かりとりの役目をしていました。転じて、夜明けの薄明かりも、しのめというようになったそうです。

【初日の出（はつひので）】

元日の日の出は新年最初の夜明けであり、おめでたいとされ、初日の出参りが明治の頃から盛んになったそうです。元日の朝に天皇が行う四方拝（しほうはい：初日の出参りの起源ともいわれる。平安時代に始まった天皇の儀式で、一時は貴族や庶民にも広まったようです。元日の早朝に、北辰《ほくしん：北極星》や天地四方、山稜などを拝み、年の災いを祓い、人々の幸せや健康、豊作や天下太平を祈る儀式）がやがて民間に広まり、初日の出を拝む習慣が生まれたともいわれています。本来、元旦とは初日の出のことで、それが転じて元日の朝を元旦というようになりました。

「旦」の字は、朝雲から（あるいは地平線から）日が昇るさまを表します。

【参考文献】：「暮らしのならわし十二か月」 白井明大 文、有賀一広 絵、伝統文化 長田なお 監修

お知らせ

<喜界町図書館活動推進標語>

「本は家族の一員です！」

《年始イベントの開催》

※「ことばくじ」をひいて今年の運だめし

※ 福袋に入っている本は何か？楽しみに！

○ 日 時： 1月5日（金）～1月7日（日）
午前10：00～午後6：00

【お正月おはなし会】

○ 日 時： 1月6日（土） 午後2時から
★ お正月あそびで盛り上がり！



◇◇「クリスマスおはなし会」盛大に終わる！！◇◇

昨年12月2日（土）に開催された「クリスマスおはなし会」には、100余名の子どもたち・保護者が参加され、絵本の読み聞かせや手遊び、手品ショーなどで楽しく過ごしました。また、サンタさんからのプレゼントもあり、子どもたちの元気な声で楽しい時間を過ごしました。



（みんなで歌おう）



（サンタクロースからのプレゼント）

＝喜界高校生職場体験学習

お疲れ様でした＝

喜界高等学校2年生の麓 妃奈子さん、渡辺 千恵美さんの2名が12/5～12/8まで喜界町図書館で職場体験学習を行いました。本の配架やカウンター業務をはじめ古本市の準備、高校生のおすすめの本展示コーナー等の図書館業務を数多く体験しました。ご苦労様でした。



（本の貸し出し・返却業務活動）

「赤ちゃんおはなしかい」

日時： 毎月第一金曜日 午前11：00より

0～2歳児の赤ちゃんと保護者に読み聞かせや手あそびなどをして楽しんでいます。気軽に参加してください！